



美術館のエントランス、ゾウが待ち構えています。

埼玉県立近代美術館MOMASのとびら 「美術館にぞうが遊びにきたぞう!」

2019年2月9日(土) 13:30~15:00
埼玉県立近代美術館エントランスにて

美術館のガラスに、大きなゾウとサイが出現…!

雪の予報でいつもより静かな北浦和公園。その中にある埼玉県立近代美術館は、正面の曲面ガラスが特徴的な建物です。この曲面ガラスに、大きなゾウとサイが現れました! SMFのメンバーでアーティストのみやうかさんによるフリー参加のワークショップ「美術館にぞうが遊びにきたぞう!」です。

13:30からスタートの予定でしたが、楽しげな様子に少しずつ人が集まり、早めに開始。半透明のシートに、マジックや色鉛筆を使ってお絵かきして、ゾウやサイの上、好きなところに貼り付けると、みんなの絵が少しずつ集まって、みやうかさんのゾウとサイがどんどん賑やかになっていきます。

みんなのお絵かきを見ながら。わたしは何をかこうかな?

今日のワークショップは事前申込不要。気になった人、参加したくなった人はその場で参加できます。小さい子どもが保護者の方といっしょに一生懸命お絵かきをしたり、大人の方が友人同士で立ち寄ってみたり、色々な人が参加してくれました。スタッフの声かけを受けて席についた後、「なにをかこうかな」と悩んでいる人も、ガラス窓を彩る楽しげなゾウ、サイ、そしてみんなの絵を眺めているうちにペンが動き始めます。ゾウさんのお飯、楽しげなお花畑、家族の顔、雪遊びの様子、晴れてほしい気持ちが込もったてるてる坊主…参加したみなさんの楽しい絵が更に楽しい絵を呼んで、素敵なガラス窓になりました。中にはおかわりを繰り返し、20枚近く描き貼っていった子ども終了間際、公園からガラス窓のゾウさんを発見し、笑顔で参加してくれたMOMASのとびらの常連さんもありました。

公園の真ん中の美術館、その中でも色々な人が通るエントランスでのワークショップでは、やってみたい、楽しいねの連鎖が起きていました。

ゾウとサイが見守る、夜の美術館…

ガラス窓のゾウ、サイ、そして参加した皆さんの作品は、当日の閉館時間までエントランスに展示されていました。半透明のシートに描かれたみんなの絵は、外が暗くなるとまた違った表情を見せてくれます。美術館に遊びに来たゾウとサイが、参加したみなさんの思い出を味わいながら、ゆっくりと暗くなっていく公園を楽しんでいるようです。(参加者:71名)

次回は3月23日のMOMASのとびらで、SMFアーティストのワークショップを開催します。美術館とSMFの多様な連携ワークショップをお楽しみに!



サイも楽しみにしています。



何をかこうかな!



かいて、はって、またかいて!



虹やロケット、お鼻の中に吸い込まれちゃった何か…いろいろなイメージが描かれています。



公園から見ると、美術館の中に笑顔のゾウさんが!



夜になると、また違う素敵さです。